

## ファイナルレポート

第 28 回 国際建設機械・建設資材製造機械・建設用車輛・鉱業機械専門見本市  
2007 年 4 月 23 日～29 日  
ドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場

2007 年 4 月 29 日

### bauma 2007 - 世界的な建設ブームにのり 総出展面積、出展・来場数全てにおいて史上最高を記録！

#### Summary

- 総来場数  
世界 191 ヶ国・500,000 人超 (前回比約 20%増)  
⇒ ドイツ国外からの来場総数は約 155,000 人  
…前回比約 35%増
- 出展社総数: 49 ヶ国 3,002 社
- 総出展面積: 540,000 m<sup>2</sup>
- 初開催となった<bauma フォーラム>は大盛況裡に終了  
⇒ 60 本ものイベントに 70 名以上の業界エキスパートがスピーカーとして参加、2,400 もの業界関係者が集結



#### Facts & Data

会 期	4 月 23 日(月)～27 日(金) 9 時 30 分～18 時 30 分 4 月 28 日(土) 8 時 30 分～18 時 30 分 / 29 日(日) 9 時 30 分～16 時 30 分
会 場	ドイツ・新ミュンヘン国際見本市会場
主 催	ミュンヘン見本市会社 (Messe München GmbH)
後 援	ドイツ機械工業連盟 (VDMA) 建設機械・建設資材製造機械工業会 ドイツ機械工業連盟 (VDMA) 鉱業機械工業会 欧州建設機械工業連合会 (CECE)
規 模	全 17 ホール + 屋外展示スペース 540,000 m <sup>2</sup> (2004 年: 500,000 m <sup>2</sup> ) ⇒ 10%増 ホールスペース: 180,000 m <sup>2</sup> (2004 年: 160,000 m <sup>2</sup> ) 屋外展示スペース: 360,000 m <sup>2</sup> (2004 年: 340,000 m <sup>2</sup> )
出 展 社 数	49 ヶ国から 3,002 社 (2004 年: 47 ヶ国・2,801 社) ドイツ国外出展社数: 1,643 社 (2004 年: 1,437 社)
来 場 者 数	191 ヶ国から 501,523 人 (2004 年: 171 ヶ国・416,220 人 / 前回比約 20%増) ドイツ国外来場総数: 155,472 人 (2004 年: 116,542 人 / 前回比約 35%増) 日本からの来場総数: 2,500 人超 (過去最高値 / 2004 年: 1,641 人)
主 な 出 展 品	建築・土木・下水道・道路・線路・横坑・トンネル建設機械・器具、建設用車輛、クレーン・リフト、コンベヤー、セメント・石灰・石膏・砂・砂利・砕石・コンクリート・自然石・人工石産業向け機械・プラント、駆動・流体技術、建設機械・建設資材製造機械用機器・摩耗部品、鉱業機械 など

出展日本企業 (現法出展など含む)	(株)アイチコーポレーション、オカダアイヨン(株)、川崎重工業(株)、(株)カワサキプレジジョンマシナリ、(株)神崎高級工機製作所、(株)クボタ、KYB(株)、コベルコクレーン(株)、コベルコ建機(株)、コマツ、(株)コンセック、栄通信工業(株)、(株)竹内製作所、(株)タダノ、(株)鶴見製作所、東空販売(株)、(株)トプコン、(株)豊田自動織機、(社)日本建設機械化協会 - JCMA、(社)日本建設機械工業会 - CEMA、日本ニューマチック工業(株)、日立建機(株)、日立工機(株)、日立住友重機械建機クレーン(株)、(株)不二越、ブリヂストン(株)、古河ロックドリル(株)、本田技研工業(株)、(株)前田製作所、マックス(株)、三笠産業(株)、三菱重工業(株)、ヤンマー(株)、ユアサ商事(株) ほか
専用 URL	<a href="http://www.bauma.de">www.bauma.de</a> (英語、ドイツ語)

bauma 2007 は史上最高の結果を残し、世界の建設業界にとって最も重要、かつリードする専門見本市の地位を、改めて示すこととなった。第 28 回国際建設機械・建設資材製造機械・建設用車輛・鉱業機械専門見本市は、2007 年 4 月 23 日から 29 日に新ミュンヘン国際見本市会場で行われ、前回 2004 年開催の実績を、規模、出展・来場総数すべてにおいて明らかに凌駕する結果となった。『出展社、bauma 諮問委員会の多大なるご協力に加え、メッセ・ミュンヘン・インターナショナルグループのグローバルネットワークを駆使し、bauma はさらに拡大・発展、世界的に業界をリードする専門見本市であることを証明した。加えて、アジア、南米、アフリカなどの新興国を中心とした建設ブーム、そして欧州建設業界の景気が上向きつつあることが、今回の成功に決定的な要因を与えている。』とは、ミュンヘン見本市会社 代表取締役会長 兼 CEO であるマンフレッド・ヴッツルホーファーの弁だ。



bauma 2007 は、史上最高記録となる、500,000 人超(2004 年開催: 416,000 人)もの来場があった。これは、前回開催比 20%増にあたる。ドイツ国外からの来場割合も顕著な伸びを示し、全体のおよそ 30%にあたる 155,000 人(2004 年開催: 116,000 人)を数えた。ドイツ国外からの来場は、ドイツ隣国、南・東欧に加え、欧州域外からもおしなべて伸びを示し、中には 100%増を示す国もあった。会期中の 2007 年 4 月 26 日(木)には、ミュンヘン国際空港を利用した旅客数が史上最高の 120,000 人に達したことも、ドイツ国外からの来場がいかに多かったかを示すニュースであろう。欧州域外からの来場で、なかでも顕著な伸びを示したのは、日本、インド、オーストラリア、カナダ、韓国、中国、米国、南アフリカ、メキシコ、そして東南アジア諸国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)である。今回のパートナー地域であるアラビア半島の国々もおよそ 2,300 人(2004 年開催: 962 人)と、多数来場した。前回の 2004 年開催では、171 ヶ国を数えた来場国数は、本年は 11%増の 190 ヶ国へと伸び、bauma 2007 はほぼ全世界から視察がなされたといえよう。

前回開催比 7%増にあたる 3,002 もの出展社(2004 年開催: 2,801 社)が、最新の製品・サービスをミュンヘンで展示した。その内訳は、ドイツ国内から 1,359 社(2004 年開催: 1,364 社)、ドイツ国外から 1,643 社(2004 年開催: 1,437 社)で、ドイツ、イタリア、英国からの出展数がトップ 3 である。

出展・来場数が史上最高を記録した bauma 2007 は、非常に高い、予想以上の評価を受けている。これは、出展・来場双方がつけた評価が示している。独立市場調査機関 tns infratest 社が会期中に実施したアンケート結果によると、来場者の質が非常に高く、83%(2004 年開催: 79%)が意思決定者であった。来場者の 97%(2004 年開催: 93%)が bauma 2007 を非常に意義深い業界専門見本市であると評価し、そのため、96%(2004 年開催: 93%)は、次回 bauma も来場したいと回答している。加えて、86%は業界の現況に関して『良好である』と回答し、86%は『さらに良い方向へと向かうだろう』と考えている。出展社も、bauma 2007 への参加成果に関し、高い満足度を示している。顧客満足度は 96%(2004 年開催: 93%)にもおよび、出展社の 98%(2004 年開催: 97%)は、次回 bauma へも継続出展したいと回答している。出展社からの評

価値が特に高かったポイントは、業界を代表する世界的な専門見本市である点(96%)、国際色が豊かである点(96%)、そしてブースへの来場頻度(90%)だ。来場者と同様、出展社も明るい将来見通しをもっている。88%は、西欧における業界の現況に関し『良好である』と回答し、92%は『この傾向がさらに進むだろう』と見ている。注目すべきは、顧客との関係強化、企業プロモーションといった、従来の見本市参加目的に対する高い満足度に加え、多くの出展社が予測を超えた大規模な契約を結べたと報告している。アンケートによれば、出展社の91%が bauma 2007 で革新的な製品・技術を紹介したと回答している。

膨大なスペース需要に対応するため、ホールスペース 180,000 m<sup>2</sup>(2004 年開催: 160,000 m<sup>2</sup>)、そして屋外展示スペースは 360,000 m<sup>2</sup>(2004 年開催: 340,000 m<sup>2</sup>)が用意され、総計が前回開催比 10%増の規模となった。展示総面積で世界最大の業界専門見本市となった bauma は、計 540,000 m<sup>2</sup>(2004 年開催: 500,000 m<sup>2</sup>)全てが完売している。

bauma 2007 は、世界で最も幅広い鉱業機械関連の製品が展示された場としても、成功を収めている。『bauma 2007 with mining は、高い要求を満たした。鉱業技術分野の国際色豊かな来場者の数、そして質の高さは、bauma with mining が業界専門見本市としてその地位を築き、そして来場者に受け入れられたことを証明している。』と、ドイツ・DBT 社 代表取締役社長 兼 CEO であるウィリアム・S・ターテ氏が振り返っている。

史上初めて会期中に行われた bauma フォーラムは、出展・来場双方に、鉱業機械市場、製品開発、そして注目国に関する情報を提供した。計 60 イベントが行われ、のべ 70 名を超える業界エキスパートが、2,400 名もの参加者と業界の最新動向について議論した。



会期 7 日間にわたり、建設・建材・鉱業機械業界、そして建設用車両、建設機器の最新開発・技術が紹介された。bauma は、なかでもメーカー・ユーザー間のコミュニケーションとビジネスチャンスの進展に、重きをおいている。ビジネスコンタクトをより強固に、かつ拡大するため、意思決定者、ビジネスパートナーが本メッセで出会っている。『前回開催の bauma 2004 は本当にすばらしかった。今回は、よりいっそう優れた結果となった。コンタクト数、商談の質、来場者の国際性など、どれも圧倒的だ。』と、ドイツ BHS-Sonthofen 社 代表取締役社長であり、ドイツ機械工業連盟(VDMA)建設機械・建設資材製造機械工業会 会長 兼 bauma 諮問委員会 会頭である Dr. クリストフ・ケンマン氏がコメントしている。

次回 bauma 2010 は、2010 年 4 月 19 日~25 日に新ミュンヘン国際見本市会場にて開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ [www.bauma.de](http://www.bauma.de) で

資料請求、出展申込み、入場券購入、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン・インターナショナル 日本代表部

〒102-0075 東京都千代田区三番町 2-4 三番町 KSビル 5F 在日ドイツ商工会議所内

Tel.: 03-5276-3508 Fax: 03-5276-3509 e-mail: [info@messe-muenchen.jp](mailto:info@messe-muenchen.jp)

URL: [www.messe-muenchen.jp](http://www.messe-muenchen.jp) (日本語) [www.messe-muenchen.com](http://www.messe-muenchen.com) (英語 / ドイツ語)